

坂出市教育委員会点検・評価報告書
(令和3年度事業)

令和4年7月19日
坂出市教育委員会

I. 目的及び制度の概要

教育行政の効果的推進と市民への説明責任を果たすため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育委員会が毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表するものである。

II. 点検・評価の方法

点検・評価に当たっては、個々の施策、事業ごとの実施状況及び成果を明らかにするとともに、令和2年度事業に引き続き、令和3年度事業についても、新型コロナウイルス感染症の影響で、従来どおりの事業実施ができなかったことを踏まえ、数値目標は令和2年度と同じとし、感染症拡大防止対策として実施したものや、様々な工夫をして実施できた事業も含めて自己評価を行った。

点検・評価の客観性を確保するため、「坂出市教育評価委員会」を令和4年7月19日に開催し、教育に関し学識経験を有する委員の方々にご意見、ご助言をいただいた。

坂出市教育評価委員会

委員長	有馬 道久	
委員	宮下 良造	(欠席)
委員	高橋 惠	
委員	富家 誠	

III. 教育委員会活動の概要

坂出市教育委員会では主体的で市民に信頼され開かれた教育委員会を目指し、令和3年度において以下の活動を行った。

1. 委員構成

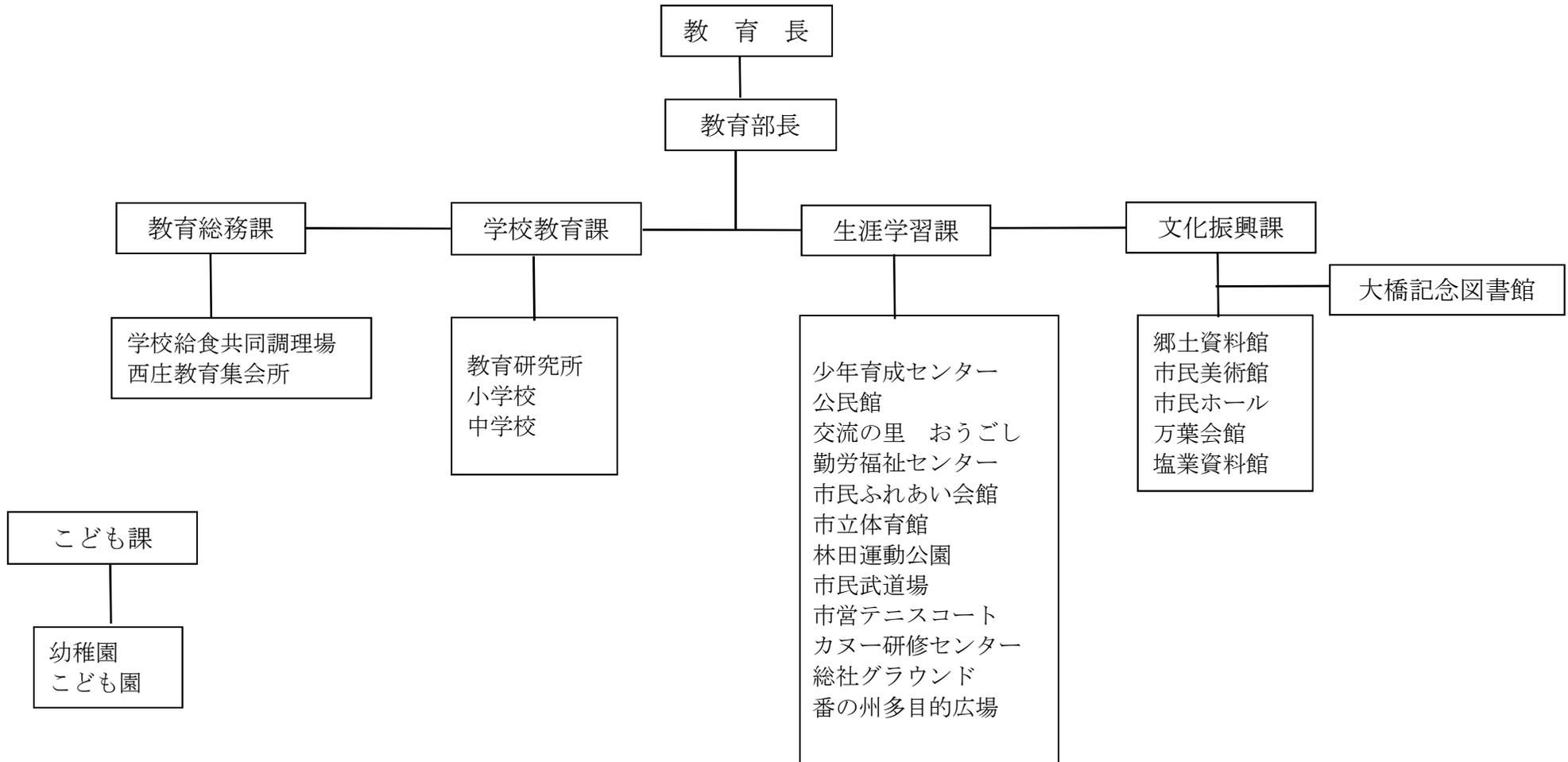
地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正は、教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任体制の明確化、迅速な危機管理体制の構築、市長と教育委員会との連携強化とともに、地方に対する国の関与の見直しを図る制度の抜本的な改革として改正された。教育長は従来、教育委員の中より教育委員会によって任命されていたが、新制度では市長が議会の同意を得て任命されることとなる。

教育委員会は、教育長と4名の教育委員をもって組織されており、令和4年3月31日現在の委員構成は次のとおりである。

坂出市教育委員会

教育長 山田 知志、委員 小川 幸彦、委員 漆原 惠子、委員 山地 誠治、委員 林 陽子

2. 教育委員会事務局の組織図



3. 教育委員会会議の開催状況

会議は、原則として毎月1回定例会を、また必要に応じて臨時会を開催しており、令和3年度は合計14回開催した。

教育委員会定例会	12回開催	議案35件	報告59件
教育委員会臨時会	2回開催	議案 2件	

4. 総合教育会議

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、平成27年4月1日から施行されたことに伴い、市長と教育委員会が十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有して、より一層民意を反映した教育行政の推進を図るため、同法第1条の4の規定に基づき、市長が設置するもので、協議・調整する項目は以下の点があげられる。

- (1) 地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱の策定
 - (2) 教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき施策
 - (3) 児童、生徒等の生命又は身体に現に被害が生じ、又はまさに被害が生ずるおそれがあると見込まれる場合等の緊急の場合に講ずべき措置
- また、総合教育会議は、市長と教育委員によって構成され、地方公共団体の長と教育委員会という対等な執行機関同士の協議・調整の場であり、総合教育会議自体は執行機関ではないものとして位置づけられている。

実施日	議 題
11月9日	坂出市立学校における教育およびICT環境について（授業視察）
	教育現場の組織および取り組みについて

5. 教育委員会のその他の活動

①要請訪問

市立幼稚園4園、市立こども園2園、小学校10校、中学校4校をすべて訪問。

②香川県市町教育委員会連絡協議会委員研修会

開催中止

③市町教育行政意見交換会

日 時 令和3年7月21日
場 所 県坂出合同庁舎6階会議室（坂出市江尻町）
出席者 教育長・教育委員1名

IV. 点検・評価の評価基準

次ページ以降に、教育大綱に基づく具体的施策の点検と、評価対象には事業評価シートを掲載している。

●各課による自己評価基準

区分	評価内容
A	計画が達成できた。
B	やや問題も残るが、概ね達成できた。
C	課題を残し、目標も十分達成できなかった。
D	課題が多く、具体的成果がなかった。

●評価委員による評価基準

区分	評価内容
S	目標達成以上の効果があった。
A	計画が達成できた。
B	やや問題も残るが、概ね達成できた。
C	課題を残し、目標も十分達成できなかった。
D	課題が多く、具体的成果がなかった。

坂出市教育大綱

基本理念

未来を拓く力をはぐくむ人づくり

基本目標・基本施策

I 生きる力をはぐくむ教育の充実

1. 確かな学力の育成
2. 豊かな心の育成
3. 健やかでたくましい体の育成
4. 特別支援教育の充実
5. 人権・同和教育の推進
6. 幼児教育の充実

II 夢に向かって挑戦する教育の充実

1. 志をはぐくむ教育の充実
2. グローバル社会に対応した教育の推進

III ふるさと坂出を誇りに思う教育の充実

1. 郷土を愛する心をはぐくむ学習の充実
2. 学校、家庭、地域が連携した教育の充実

IV 信頼される安全安心な教育環境の充実

1. 保護者・地域に開かれた学校づくり
2. 教職員の資質向上のための研修の充実
3. 安心できる子育て支援環境の整備
4. 魅力ある学校施設の整備充実

V 生涯にわたって学び続けることができる生涯学習の充実

1. 生涯学習のまちづくりの推進
2. 家庭や地域における教育力向上のための支援
3. スポーツの推進

VI 地域の豊かで特色ある文化の継承と創造

1. 文化芸術の振興
2. 文化財の保護

I 生きる力をはぐくむ教育の充実

① 確かな学力の育成

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
1	基礎・基本の定着と学力の向上	学校教育課	外部人材の有効な活用を図ることで学習意欲を喚起し、学び続ける態度を養う。	①外国語指導助手 ネイティブを指導助手として市内全小中学校に配置。小学校1・2年国際理解に各学年年間10h, 3・4年外国語活動, 5・6年外国語に1学級年間23h以上, 中学校英語に1学級年間12h以上配置。 ②理科観察実験アシスタント 3年生以上の理科の実験用具の準備, 理科室の整備等, 理科の授業を充実するため, 小学校8校に理科観察実験アシスタントを配置 (のべ450h)	平成19年度	
2	さかいでスクールサポートティーチャー派遣事業	学校教育課	経験豊かな退職教員を登録し, 学校からの要請に応じて派遣することにより, 坂出市立小中学校の学校教育活動のサポートを行い, 児童生徒一人一人の学力等の向上に資する。	県内の公立小中学校において, 教員として10年以上の勤務経験を有し, 教育に熱意を有する退職教員を募り, 適当と認められる者を登録し, 学校からの要請により派遣する。 退職教員は, 小中学校において, 派遣先小中学校長の指導のもと, 学校経営課題 (学力向上, 個別指導, 特別支援教育, 生徒指導対応, 教員の指導力向上など)を解決するための指導・支援の活動を行う。 退職教員の派遣については, 1回当たり4時間以内とする。(令和3年度 のべ1980h)	平成30年度	○ P26

② 豊かな心の育成

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
3	問題行動への対策 (人格形成と規範意識の涵養)	学校教育課	不登校, いじめ, 暴力行為等の問題行動や虐待, 体罰の未然防止や早期発見, 早期対応を図る。	・市内全小中学校にスクールカウンセラーを配置し, 小中が連携して, 児童生徒, 保護者, 教員の教育相談を行うことで, 不登校における対応の充実を図る。また, 市内中学校にスクールソーシャルワーカーを配置し, 児童生徒のおかれた様々な環境に働きかけて支援を行う。 ・いじめについては, 定期的なアンケート実施と, 教員による観察を強化し, 未然防止に努める。また, 坂出市いじめ問題等対策連絡協議会において策定された「坂出市いじめ防止基本方針」に基づいて, いじめを積極的に認知し, 適切に対処するよう指導している。 ・虐待については早期発見とともに, 関係機関との連携により早期対応を図る。	平成12年度	○ P26

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
4	人的支援体制の充実	学校教育課	生徒指導や学校への登校に対し配慮を要する，一人一人の子どもの実態に応じたきめ細かい指導を行い，学校生活の安定を図る。	<p>①生徒指導補助員 中学生の暴力行為の未然防止，早期発見・早期対応のために，坂出中，東部中，白峰中に各1名の生徒指導補助員を配置</p> <p>②不登校対策教育支援センター 坂出中学校に「ふれあいの部屋」，白峰中学校に「であいの部屋」を置き，3名の職員を配置</p>	<p>①平成19年度</p> <p>②平成16年度</p>	

③ 健やかでたくましい体の育成

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
5	小児生活習慣病対策事業	学校教育課	近年，増加傾向にある小児期の肥満および肥満に起因する生活習慣病の早期発見および予防を目的とする。	<p>・市内市立小学校4年生，中学校1年生の全児童生徒を対象に，小児生活習慣病予防健診の血液検査を実施し，当該検査結果を保護者および学校に通知することで児童生徒の生活習慣の見直しおよび改善指導に結びつけていく。令和元年度より小学校4年生時の結果と中学校1年生時の結果を突合し，改善状況を把握する。</p> <p>・坂出市小児生活習慣病予防対策委員会を年2回開催し，事前の効果的な啓発資料の作成，血液検査実施および事後の個別指導の内容，検査結果の分析，プライバシーの保護などの解決方策を協議する。 (令和3年度は，新型コロナウイルス感染症拡大防止のため，1回の開催(書面開催)。)</p>	<p>平成24年度 (小学4年生)</p> <p>令和元年度 (中学1年生)</p>	

④ 特別支援教育の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
6	特別支援教育支援員の拡充	学校教育課	特別に支援を要する一人一人の子どもの実態に応じたきめ細かい指導を行い、学校生活の安定と学習・生活両面の基礎的・基本的内容の確実な定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級及び通常学級に在籍する特別な支援を要する児童生徒に対し、特別支援教育支援員を配置している。 ・特別支援教育支援員研修会を幼稚園・小学校・中学校合同で年間2回実施し、発達障がいの状態を踏まえた支援に関する理解が進むよう取り組んでいる。 	平成19年度	
		こども課	特別な支援が必要な幼児一人ひとりの特性や障がいに応じた支援を行い、その発達を助長する。	<ul style="list-style-type: none"> ・各幼稚園に在籍する特別な支援や介助を要する幼児の特性や障がいの状態に応じ、各園1名～3名の特別支援教育支援員の配置をしている。 ・県教育委員会特別支援教育課より講師を招請し、発達障がいのある幼児への理解を深める研修をしている。 ・支援が必要な幼児への支援や成長の過程等を月例報告や年度末のまとめで振り返っている。 	平成17年度	○ P27

⑤ 人権・同和教育の推進

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
7	坂出市小・中学校児童・生徒 私の考えを語る会	学校教育課	①坂出市小・中学校児童・生徒 私の考えを語る会 市内小中学校の児童・生徒の意見発表の機会を設け交流を図りつつ、人権尊重意識の高揚を目指すことを目的とする。	①身近な生活体験を通して、人権あるいは人間の生き方に関する意見を、児童生徒が1題6分以内で発表する。発表校は、中学校3校、小学校5校、友情発表（綾歌郡中学校）1校である。 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、東部小学校の体育館を会場とし、参加者を制限し開催した。また、各校の発表を市内全小中学校、関係機関等に冊子として配布した。	①昭和56年度	
	坂出市幼小中幼児・児童・生徒の人権展覧会		②坂出市幼小中幼児・児童・生徒の人権展覧会 市内幼小中の幼児・児童・生徒の人権展覧会を開催し、人権尊重教育の成果を示すことで人権尊重の市民啓発を図ることを目的とする。	②「人権週間」に合わせて、市合同庁舎玄関（令和2年度会場変更）において市内全幼小中学校園、特別支援学校および市内4高校（賛助）の作品を展示する。令和3年度より土日も開催した。	②昭和61年度	

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
8	人権・同和教育だより P T A人権・同和教育研修会	学校教育課	①人権・同和教育だより 坂出綾歌ブロックにおける住民を対象に、人権意識の向上を目的として実施する。 ②P T A人権・同和教育研修会 P T Aが中心となって人権・同和研修を企画し、保護者参観日に合わせて講演会・研修会を行うことで人権・同和教育に関する啓発を図ることを目的とする。	①坂出市・宇多津町・綾川町の1市2町の人権・同和教育担当者、教員等により内容および構成を検討する。本市においては、12月広報とともに全戸配布している。 ②坂出市立学校の各校とP T Aが協力し、保護者を対象とした人権研修会を企画・実施している。 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため、実施校は6校であったが、総計1,491名が研修会に参加した。集合開催を中止した学校においては、自校の取組をまとめた啓発資料を作成し、全保護者に配布するなどの取組もみられた。	①昭和51年度 以前より発行	
9	坂出市同和地区教育連絡協議会 幼小中人権・同和教育研究事業	学校教育課	①坂出市同和地区教育連絡協議会 同和地区における幼児・児童・生徒の教育水準の向上を図ることを目的とする。 ②幼小中人権・同和教育研究事業 幼稚園・小学校・中学校の人権・同和教育主任その他の教職員を対象とし、人権・同和教育に関する研究を深めることを目的とする。	①同和地区における幼児・児童・生徒の学習活動の推進に関し、保育所・幼稚園・小学校・中学校・高等学校が校種の垣根を越えて連携を図る。 ②幼稚園・小学校・中学校の人権・同和教育主任等を対象に年2回の現地研修、講演、授業・保育研究、各校園の情報交換等を実施する。	①昭和56年度 ②昭和39年度	

⑥ 幼児教育の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
10	絵本に親しみ豊かな心をはぐくむ取組	こども課	幼児期から絵本やお話に親しむことの大切さについて幼稚園や家庭に啓発し、生涯にわたっての学習の基盤となる主体性や想像力、知的好奇心や言葉による表現力をはぐくむ。	幼児が絵本やお話に親しむ環境づくりを充実させ、豊かな心や思考力をはぐくむ取組としている。幼稚園や家庭において、絵本やお話に親しむことができるよう、教育課程や指導計画の中に位置付けるとともに、家庭への絵本の貸し出しについても充実できるように、幼児にとって興味・関心のある魅力的な絵本の充実に努めている。239千円で4園分。園児92名。	平成20年度	

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
11	幼児ふれあい茶道教室 (文化的・情緒的な体験から心をはぐくむ)	こども課	故大石キヨ子先生の遺志を受け、幼稚園やこども園の5歳児が日本の伝統文化である茶道に親しみながら、作法や情操を養う。	① 令和3年度は、第14回の開催を予定していたが、新型コロナウイルスが感染拡大する状況のため、集合による茶道教室は中止した。 ② 代替として、各園で地域の茶道の指導者による茶道教室を実施した。	平成19年度	
12	幼稚園・こども園評価の公表と保護者・地域との連携の工夫と改善(家庭や地域と連携した園づくり)	こども課	保護者や地域との連携を図りながら、地域社会に開かれた信頼される園づくりに努める。教職員の自己評価や保護者や学校関係者評価委員による評価を活かし園経営の改善を行う。	家庭や地域との連携を密にできるよう園便り・学級便り等の発行や写真のパネル展示等により、日々の子どもの姿や保育の意図を保護者や地域に分かりやすく伝えられるよう工夫をしている。 公表の方法を「坂出市就学前の子どもの教育・保育研究会」において情報交換を行い研修している。	平成21年度	
13	子ども発達支援事業(5歳児健康診査・巡回相談・幼保こ小連絡会)	こども課	幼児の健やかな成長や発達を促すとともに保護者が安心して子育てができるように、学校教育課・こども課・けんこう課が連携して、子育て支援の充実を図る。	① コロナ禍の折、実施については、県内市内の状況を見ながら判断をし、感染症対策をしながら実施していった。例年通り国公立・私立幼稚園・保育所・こども園へ健診スタッフが出向いていき、事前調査や行動観察及び個別健診を通して、子どもの発達の状態を把握して、そこから見えてきた発達の特性を踏まえ、保護者との面談を行い子育て支援を実施した。 ② 坂出市在住の令和3年度に5歳になる健診対象者377名のうち374名(99.2%)が受診している。未受診者3名へは、市役所での1次健診を勧めた。市外在住の幼児も含めると受診総数は403名であった。 ③ コロナ禍のため令和3年度の巡回相談は、幼稚園1園だった。 ④ 8月4日に市内の幼稚園・保育所・こども園と小学校の校区別連絡会を実施した。就学に向けて、各園所からの情報を小学校へ伝え、円滑な接続や切れ目のない支援体制づくりに努めた。	平成24年度	

II 夢に向かって挑戦する教育の充実

① 志をはぐくむ教育の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
14	さかいで-なかたど-あやうた算数・数学オリンピック	学校教育課	<p>①児童生徒の算数・数学に対する興味・関心を喚起し、学習意欲を高める。</p> <p>②考える楽しさを体験し、主体的に学ぼうとする態度を育成する。</p> <p>③既習の知識、技能を活用して問題を解決することで、思考力・表現力を高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会開催（年間1回：学識経験者、保護者、小中学校長会等） ・問題作成委員会開催（年間2回：小中学校教員20名） ・第9回さかいで-なかたど-あやうた算数・数学オリンピック開催 新型コロナウイルス感染症感染防止のため、チャレンジ会場を設けず、応募のあった児童生徒に問題を配布する（7月20日）。応募者数386人。Web上に解答例を掲載し（8月2日から6日）、表彰式は行わない。 ・坂出発「算数・数学オリンピック」作成 平成24年から令和3年の全9回の問題をまとめた冊子を作成し、関係市町の教育委員会及び小中学校、問題作成委員に配布。 	平成24年度	
15	心をはぐくむ講師派遣事業	学校教育課	<p>社会の様々な分野で活躍している著名人を学校に招いて講演会を開くことで、児童生徒がその生き方に学び、具体的な自分の夢や志を考えるきっかけとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市内5校に講師を派遣し、講演会等を開いた。 ・金山小学校 令和3年11月20日 ピアニスト 作曲家 入谷 早紀氏 創立100周年記念式典でのピアノ演奏や校歌アレンジ等 ・瀬居中学校 令和3年11月26日 ビジネスマナー講師 谷澤 優花氏 マナー講座 令和3年11月30日 四国水族館館長 松沢 慶将氏 講演 ・白峰中学校 令和3年12月6日 香川県パラカヌー協会会長 今井 航一氏 講演 ・林田小学校 令和3年12月20日午前 ・加茂小学校 令和3年12月20日午後 合同会社アーク代表社員 三崎 幸典氏 ロボット（高専ロボコン）の実演と講演 	平成24年度	

Ⅲ ふるさと坂出を誇りに思う教育の充実

① 郷土を愛する心をはぐくむ学習の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
16	ふるさと理解推進事業	学校教育課	豊かな自然や教育的・文化的な資源を活用して体験的な学習、探究的な学習を実施し、自分たちの住んでいる地域やふるさと坂出への愛着や誇りに思う心、郷土に貢献しようとする意欲や態度の育成に資する。	<p>○ふるさと学習の推進及び体験的な学習の充実 身近な自然、歴史や文化、社会教育施設や人材などの地域の教育資源（ひと、もの、こと）や社会科副読本「ふるさと坂出」を活用した探究的な学習を進める。 コロナ禍ではあったが、金山小学校、松山小学校の実践指定校を中心として、身近な地域を対象とした教育活動や坂出市内の社会教育施設（坂出市府中湖カヌー競技場、交流の里おうごし）や民間施設（けいの里、坂出みかん選果場、瀬戸内オリーブ園等）を活用した学習が展開できた。令和4年度はさらに実践指定校を拡大して事業を推進していくこととしている。 ただし、特別活動や総合的な学習活動の時間を利用した探究活動、職場体験学習、ボランティア活動など多くは、感染拡大防止のため自粛する結果となった。</p>	平成26年度	

② 学校、家庭、地域が連携した教育の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
17	家庭・地域との連携と啓発	学校教育課	子どもの基本的な生活習慣、規範意識、道徳性をはぐくむため、学校、家庭、地域の連携を推進するとともに、創意工夫に満ちた教育課程の編成にもとづいた特色ある学校・園づくりを進める。	<p>園や学校の実情に応じて、保護者や地域関係者の連携・協働活動に基づいた教育活動を実践する。 ①保育・授業参観 1日または半日のフリー参観を実施（全幼小中）、教育活動への保護者参加の工夫は、コロナ禍のため分散方式によるものとなる。 ②広報活動 学校だよりや学校ホームページ、メール配信を活用した情報発信を実施し、特にコロナ禍における情報発信を重視し、広く学校の取組の理解を図った。 ③「社会に開かれた教育課程」の編成 新学習指導要領の全面実施から、小学校は2年目、中学校は初年度となり、趣旨を踏まえた教育課程の編成及び実施に取り組んだ。</p>		

IV 信頼される安全安心な教育環境の充実

① 保護者・地域に開かれた学校づくり

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
18	学校運営協議会設置事業	学校教育課	学校と地域住民や保護者等が力を合わせて学校運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」に転換する仕組みである学校運営協議会制度を導入し、地域の声を学校運営に生かし、地域ならではの創意や工夫を生かした特色ある学校づくりを推進する。	平成29年度、東部中学校、府中小学校を、さらに平成30年度は坂出小学校に学校運営協議会制度の導入推進校（モデル校）に指定し実践研究を進めてきた。 その成果や課題を踏まえ、令和元年度、市内全小中学校を学校運営協議会を設置するコミュニティ・スクールとした。 各学校運営協議会は、校長が作成する学校運営の基本方針を基に学校運営について協議し、地域住民等の参画を得て地域学校協働活動を推進している。 具体的には、登下校の見守り活動、合同防災訓練、学校内外の環境整備活動などについて、活動組織のもと運営している。 設置後2年間の成果を実践事例集にまとめ、各学校運営協議会の活動を紹介する冊子を作成し、実践交流を図った。	平成29年度	
19	学校関係者評価委員会・学校経営支援委員会（信頼される学校づくり）	学校教育課	各学校の学校評価（自己評価と学校関係者評価）について、専門的、客観的立場から評価し、指導・助言を行うことで、各校の学校運営の充実に資する。	各学校で管理職等による校内評価委員会は「自己評価書」を作成し、保護者および学校関係者からなる学校関係者評価委員会に提出する。 学校関係者評価委員会での協議を基に学校が作成した「学校評価書」について、学校経営支援委員会を開き、学識経験者、保護者代表4名が第三者評価を行い、その助言・指導を各校の学校運営の充実に資する。	平成21年度	

② 教職員の資質向上のための研修の充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
20	教育研究所の研究・研修事業（信頼される学校づくり）	学校教育課	新学習指導要領の理念に則し、学校、その他教育関係機関との連携のもとに教育研究所の4部会において、理論・実践の両面から調査研究を推進し、本市教育の充実・発展と教員の資質・能力の向上に資する。	①学校人権・同和教育啓発資料作成部会 「人権・同和教育をすすめるために」研修資料作成 ②不登校・特別支援教育部会 人との絆を深め、自尊感情を高める支援の在り方を探る（フレンドシップ夏の集い、クリスマスの集い） ③学校教育課題部会 「G I G Aスクール構想」の実現による本市における教育実践の現状と課題 ④若年教員研修部会 熟練教員の指導力を若年教員へ継承する「若い教師の研修会」の開催 ・共通研修①（小・中学校）※不登校・特別支援教育部会合同研修 「自閉症等発達障がいの子ども理解と支援について」 ・校種別研修（小・中学校） 「先輩教員の体験談から学ぼう」 ・共通研修②（小・中学校） 「お悩み解消座談会」	昭和55年	○ P27

③ 安心できる子育て支援環境の整備

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象																																													
21	放課後子ども教室 推進事業	教育総務課	小学校において、放課後や週末に小学校や地域の公民館などを活用して、子どもたちの安全・安心な居場所を設けるとともに、地域の方々の参画を得て、子どもたちと地域住民との交流活動の取り組みを実施することで、心豊かな育成環境づくりの推進を図る。	<table border="0"> <tr> <td>・金山地区</td> <td>R2年度</td> <td>R3年度</td> </tr> <tr> <td>テニス教室</td> <td>12回 182人</td> <td>20回 254人</td> </tr> <tr> <td>そろばん教室</td> <td>8回 108人</td> <td>9回 164人</td> </tr> <tr> <td>ボール運動教室</td> <td>3回 57人</td> <td>5回 103人</td> </tr> <tr> <td>パステルアート教室</td> <td>2回 15人</td> <td>1回 12人</td> </tr> <tr> <td>集団宿泊体験学習</td> <td>1回 15人</td> <td>未実施</td> </tr> <tr> <td>お菓子、料理教室</td> <td>1回 22人</td> <td>未実施</td> </tr> <tr> <td>華道教室</td> <td>1回 5人</td> <td>1回 4人</td> </tr> <tr> <td>栽培・収穫体験教室</td> <td>1回 5人</td> <td>1回 18人</td> </tr> <tr> <td>島巡り教室</td> <td>1回 5人</td> <td>未実施</td> </tr> <tr> <td>防災キャンプ</td> <td>1回 10人</td> <td>未実施</td> </tr> <tr> <td>絵画教室</td> <td></td> <td>4回 18人</td> </tr> </table> <table border="0"> <tr> <td>・西庄地区</td> <td>R2年度</td> <td>R3年度</td> </tr> <tr> <td>自主学習</td> <td>15回 50人</td> <td>9回 24人</td> </tr> <tr> <td>ボール運動教室</td> <td>18回 160人</td> <td>16回 91人</td> </tr> </table>	・金山地区	R2年度	R3年度	テニス教室	12回 182人	20回 254人	そろばん教室	8回 108人	9回 164人	ボール運動教室	3回 57人	5回 103人	パステルアート教室	2回 15人	1回 12人	集団宿泊体験学習	1回 15人	未実施	お菓子、料理教室	1回 22人	未実施	華道教室	1回 5人	1回 4人	栽培・収穫体験教室	1回 5人	1回 18人	島巡り教室	1回 5人	未実施	防災キャンプ	1回 10人	未実施	絵画教室		4回 18人	・西庄地区	R2年度	R3年度	自主学習	15回 50人	9回 24人	ボール運動教室	18回 160人	16回 91人	平成21年度	
・金山地区	R2年度	R3年度																																																	
テニス教室	12回 182人	20回 254人																																																	
そろばん教室	8回 108人	9回 164人																																																	
ボール運動教室	3回 57人	5回 103人																																																	
パステルアート教室	2回 15人	1回 12人																																																	
集団宿泊体験学習	1回 15人	未実施																																																	
お菓子、料理教室	1回 22人	未実施																																																	
華道教室	1回 5人	1回 4人																																																	
栽培・収穫体験教室	1回 5人	1回 18人																																																	
島巡り教室	1回 5人	未実施																																																	
防災キャンプ	1回 10人	未実施																																																	
絵画教室		4回 18人																																																	
・西庄地区	R2年度	R3年度																																																	
自主学習	15回 50人	9回 24人																																																	
ボール運動教室	18回 160人	16回 91人																																																	
22	放課後児童健全育成事業（仲よし教室・みのり教室）	教育総務課	小学校に就学している1年生から6年生までのうち、保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に対し、放課後等に適切な遊び・生活の場を提供することにより、児童の健全な育成と子育て支援の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童健全育成事業(感染拡大防止事業) 6,417,447円 感染拡大防止対策として、事業を継続的に実施していくために必要な衛生用品や備品の購入、簡易な施設の改修等の環境整備を図った。なお、財源として子ども・子育て支援交付金を活用し、事業を実施した。 ・放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業 1,150,600円 新型コロナウイルス感染症への対応と少子高齢化への対応が重なる最前線において働く放課後児童支援員等の処遇の改善のため、賃上げ効果が継続される取り組みを行うことを前提として、委託業者に補助金を支出した。財源として、保育士等処遇改善臨時特例交付金を活用し、事業を実施した。 	昭和48年度																																														

④ 魅力ある学校施設の整備充実

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
23	学校給食センター 整備運営事業	教育総務課	本市の新しい学校給食の拠点施設として、衛生管理基準を満たし、安全・安心でおいしく栄養バランスを考慮した学校給食の提供や食育の推進を図るために学校給食センターを建設する。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食センター整備運営事業モニタリング業務委託料 5,760,000円 <p>PFI事業者が行う業務の内容が要求水準を満たしているか等を監視するモニタリング業務を委託し、より効率的かつ効果的な事業を実現できるよう学校給食センターの整備を進めた。</p> <p>令和3年度は建設に着手し、開業に向けての準備に取り組んだ。</p>	平成29年度	○ P28

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
24	小・中学校施設整備事業	教育総務課	<p>学校施設は、日常において子どもや教職員の生活の場であるとともに、災害時には地域住民の避難場所としての役割を担う。学校施設が常に健全な状態を維持できるよう適切な維持管理を行う、</p>	<p>小学校費 修繕料・工事費 19,939,000円 ・遊具整備工事(金山小) 4,895,000円 ・グラウンド排水管更新工事(川津小) 5,815,700円</p> <p>中学校費 修繕料・工事費 40,873,000円 ・屋上防水改修工事(坂出中) 20,559,000円 ・バックネット更新工事(白峰中) 4,464,900円</p>	-	
25	教育用ICT環境整備事業	教育総務課	<p>一人一台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない公正に個別最適化された学びを学校現場で持続的に実現させる。</p>	<p>・学校インターネットシステム機器更新事業 5年総額45,408,000円 G I G Aスクール構想により、約3,700台のタブレット端末が整備され、インターネットアクセス数が大幅に増加することから、インターネット回線を100MBから10GBに増強し、高速大容量通信に対応できる環境整備を行った。</p> <p>・G I G Aスクールサポーター配置支援事業 7,612,000円 急速な学校ICT化が進み、通信障害等のトラブル、使用マニュアルの作成等の初期対応を担うICT環境整備等の知見を有する者を派遣する業務を委託した。なお、財源として公立学校情報機器整備費補助金を活用し、事業を実施した。</p>	令和元年度	
26	学校再編整備事業	教育総務課	<p>少子化に伴い学校の小規模化が進行していること、多くの学校で老朽化が進み施設の長寿命化改修や建て替えの時期を迎えていることなどから、学校規模の適正化や適正配置の具体的な検討が必要となる。</p>	<p>校舎の老朽化および今後のさらなる児童・生徒数の減少に対応し、学校教育の継続を図ることを目的に、学識経験者、小・中学校長の代表者、保護者の代表者、住民の代表者の10名で構成する「坂出市学校再編整備検討委員会」を設置し、「坂出市学校再編整備実施計画(平成20年)」と「坂出市学校施設長寿命化計画(令和2年)」を基礎資料として、新たな「学校再編整備計画」の策定に着手した。</p>	令和3年度	○ P28
27	新型コロナウイルス感染症対策事業	教育総務課	<p>学校の教育活動に際して、密閉・密集・密接を回避し、児童・生徒・教職員等の感染症対策に必要な物品等を購入し、感染拡大の防止を図る。</p>	<p>・学校保健特別対策事業 13,368,234円 学校における感染拡大のリスクを最小限にするため必要となる保健衛生用品の購入等の経費を学校規模に応じ配分した。 なお、財源として学校保健特別対策事業費補助金を活用し、事業を実施した。 消毒液、CO2濃度測定器、サーキュレーター等</p> <p>・公立小中学校密改善事業 3,069,000円 学校における新型コロナウイルス感染症対策として、給食配膳台を追加購入し2か所で配膳することで、密集を避け感染症拡大の防止が図れた。なお、財源として新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、事業を実施した。 給食配膳台 11小中学校 62台</p>	-	

V 生涯にわたって学び続けることができる生涯学習の充実

① 生涯学習のまちづくりの推進

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
28	女性セミナー（オンライン含む）	生涯学習課	高齢化社会を迎え、長い人生を自分らしく豊かに、いかに生きるかについて、楽しく学習していきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・「ズームツアー～モロッコ“サハラ砂漠”からエコファーム創設を目指す日本人女性～」 83名 ・サックス演奏会 114名 ・現地学習「桃太郎伝説と平賀源内ゆかりの町を訪ねて！」 97名 ・元気の出る講演会「笑顔で福がやってくる」 97名 <p>※合計10回 391名</p>	-	
29	中央公民館市民講座	生涯学習課	市民に対し生涯学習の充実と学ぶ喜びの享受	<p>前期講座 （定員を減らした上、感染予防策を講じて実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つるとラタンのバスケットリー 56名 ・漢字書道 37名 ・リトミック 22名 ・山野草 43名 ・陶芸 59名 ・太極拳 75名 ・絵手紙 159名 ・げんだい書 46名 ・パソコン 43名 <p>全9講座 540名 ※後期講座については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p>	昭和42年度	
30	地区公民館施設整備事業	生涯学習課	新型コロナウイルス感染症対策として、トイレ等改修により、施設の充実を図る。	<p>新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、7地区公民館のトイレ洋式化と手洗器自動化工事を行った。 （加茂公民館、林田公民館、府中公民館、松山公民館、川津公民館、西庄公民館、南部公民館）</p>	令和3年度	○ P28

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
31	働く女性の家講座	生涯学習課	働く女性を対象に、女性のたしなみと教養など資質の向上を図る。	<p>前期講座 (定員を減らした上、感染予防策を講じて実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英会話 97名 ・健康美 149名 ・やさしいヨガ 112名 ・ちぎり絵 83名 ・スローエクササイズ 149名 ・カントリークラブ 95名 ・初心者の手編み 82名 ・フラダンス 74名 ・煎茶と礼法 13名 ・着装とマナー 32名 <p>全10講座 886名 ※後期講座については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p>	昭和52年度	
32	生涯学習フェスタ	生涯学習課	生涯学習活動をされている団体の発表・展示の場を設けることにより、生涯学習の一層の振興に資し、まちづくり、人づくりを進める。	<p>勤労福祉センターを会場に「生涯学習の発表の場」として、公民館講座（地区館も含む）や働く女性の家講座、公民館や勤労福祉センターなどで活動している自主グループの方の発表・展示を行うなど、本市生涯学習の推進を図る。</p> <p>合計参加者数 1,243人</p>	平成28年度	
33	交流の里 おうごし	生涯学習課	旧王越小学校を、主に青少年や社会教育団体を対象とした宿泊型野外活動施設として平成29年度より開設し、王越地区のにぎわいづくりや地域交流の場として交流人口の増加を図る。	<p>平成27年度に基本・実施設計を、平成28年度には改修工事を行い平成29年度に開設した。平成30年度においては、要望の出ていた宿泊室へのエアコンの設置を行った。</p> <p>利用者数 1,482人</p>	平成29年度	○ P28

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
34	親子向け・子ども向け講座	生涯学習課	土曜日（休日）の過ごし方の一つとして、子どもたち（親子）の学習の場、および、ともに汗を流す場を提供する。他の学校へ通う子どもたちとの出会いもあり、学校とはまた違う体験ができ、新たなものへの知識欲、人への思いやり、郷土愛など身につけることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ●さかいでっこ探けん隊 計19回（519名） ・手作り工作系 7回（196名） ・体験学習系 9回（215名） ・運動系 3回（108名） ●さかいでっこガイド隊 中止 ●チャレンジ！ニュースポーツ講座 中止 ●学ぶ！未来のトンボ学校 計1回 35名 内容（ピザ作り、竹で花瓶作り） ●自然観察会 中止 ●SOMPOボールゲームフェスタin坂出 中止 	平成15年度	
35	人権学習講座	生涯学習課	人間の尊厳と人権の確立をめざして、家庭・学校教育をはじめとするいろいろな分野での人権問題を解決する手立てを学習する。	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史と人権「歴史が語る・人権問題のルーツ」 歴史研究家 上原 敏 37名 	-	

② 家庭や地域における教育力向上のための支援

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
36	坂出市成人式	生涯学習課	大人になったことを自覚し、自ら生きぬこうとする青年を祝い励ますとともに、青年が社会のために尽くそうとする考えを持ってもらうとの趣旨から成人式を行なう。	<p>令和4年の成人式については、新型コロナウイルスの影響に伴い、適切な感染予防策を講じ坂出市立体育館にて式典のみ開催する。幼少期からのスライド映像を上映後、式典では、市長・議長からのお祝いのことば、記念品紹介、成人のことばなどを行なう。</p> <p>※成人式までに、各地区からの新成人代表12名は7月より毎月1回程度会を開き、成人式の内容等について話し合う。</p> <p>参加者数 394名（男性183名、女性211名）</p>	昭和25年度	

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
37	婦人団体育成	生涯学習課	婦人団体連絡協議会は、女性の教養を高め、生活の刷新を図るとともに、地域社会の発展と福祉を増進することに努め、あわせて会員相互の親睦を目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> 各地区における子どもやお年寄りの見守り 生活文化展 地区敬老会 日赤・防災活動 市の行事の手伝い その他数多くのボランティア活動 <p>10団体 会員数4,178名</p>	-	
38	子ども会育成	生涯学習課	少子化や地域社会のつながりの希薄化のなか、子ども会行事を通じて、地域で異年齢の子どもたちが一緒に遊ぶなど、楽しい子ども会行事を通じて、地域に愛着をもち、誇りに思う子どもの育成を行う。	<p>地域で異年齢の子どもたちが一緒に遊ぶ場を提供するとともに、地域の伝統行事などに子ども会活動を通じて参加する。</p> <p>ゆめ活動委託料・花いっぱい運動委託料・市子連活動補助金・地区子ども会活動補助金</p> <p>35団体 会員数1,203名</p>	-	
39	青色パトロール運行活動事業	生涯学習課	登下校中の子どもが被害に遭う犯罪の抑止に努めるとともに、地域の安全・防犯意識の向上を図り、地域ぐるみで安全・安心なまちづくりを推進することを目的とする。	本市では、少年育成センター公用車による青色防犯パトロールを毎日、午前・午後の2回実施しているほか、市内7団体の自主防犯団体が地域で行う青色防犯パトロール運行活動事業について補助金を交付することにより、安全で安心して暮らすことができる地域社会の実現を図っている。また、青色防犯パトロール団体情報交換会を開催することで、パトロール活動についての理解を深めるとともに、意見交換を行って情報や課題の共有に努めている。	平成21年度 (補助制度創設)	○ P29
40	地域育成活動事業	生涯学習課	地域における健全育成と団体の育成に努める	市内11地区の青少年健全育成町民会議が実施する非行防止・広報啓発・環境浄化活動や地域で進める子ども体験活動に対して助成することにより、各地区の町民会議が実施する事業活動との連携を強化して、地域における「みんなで子どもを育てる」育成活動の充実を図った。	平成13年度	

③ スポーツの推進

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
41	市内三校高等学校 野球定期戦大会	生涯学習課	青少年たちの持つ無限の可能性と協調の精神を養い、野球スポーツを計画的・継続的に実践し、それによって青少年の健全育成と体力の向上に努める。	市内の高等学校3校（坂出高校・坂出商業高校・坂出工業高校）による硬式野球リーグ戦を実施する。 3高校 約100名	昭和27年度	
42	総合型地域スポーツクラブ支援事業	生涯学習課	国のスポーツ振興基本計画に沿った、生涯スポーツ社会の実現を図るため、幅広い世代の人々が、各自の興味関心・競技レベルに合わせて、さまざまなスポーツに触れる機会を提供する総合型地域スポーツクラブの支援を行う。	アウトドラスポーツとして、「ナイトハイク」や「里山ハイキング」等の「ウォーキング」を中心とした行事、また、インドアスポーツとしてカローリングやスラックライン教室、アジャタ大会等を行っている。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響でいくつかの行事が中止となる中、6つの行事に669名の参加があった。	平成21年度	
43	ラジオ体操普及推進事業	生涯学習課	いつでも・どこでも・誰でもができるラジオ体操を普及推進し、市民の健康増進や、地域間交流及び家族間交流の促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 市役所本庁舎，合同庁舎，教育会館の始業前のラジオ体操放送 各地域に拠点となるラジオ体操広場を設置し，毎朝6時30分からラジオ体操放送 <p>7ヶ所にて実施</p> <p>令和3年度は地区巡回の「坂出市ラジオ体操大会」を西庄小学校で開催し，122名の参加があった。</p>	平成25年度	
44	カヌーのまちさかいで推進事業	生涯学習課	カヌー競技の普及，競技力の向上や，スポーツへの関心を高めることによる生涯スポーツの推進，地元からのオリンピック選手の輩出を目指す。 また，2020東京オリンピック事前合宿の実施に伴い，府中湖カヌー競技場を世界に向け発信し，本市の活性化やにぎわい創出に繋げる。	<ul style="list-style-type: none"> 競技の普及と競技力向上 令和3年度に延期された東京2020オリンピック事前合宿の実施 府中湖カヌー競技場のコースレーンおよび乗降用栈橋等の改修の実施 69,300,000円 カヌースプリント・カヌースプリントジュニア・パラカヌー海外派遣選手選考会，府中湖レガッタなどの開催 	平成27年度	○ P29

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
45	ふるさと坂出スポ レク大会	生涯学習課	<p>四半世紀に渡り開催してきた瀬戸大橋駅伝競走大会に替わる事業として、市民の健康づくりと生涯スポーツの普及を目指し、地域における体育活動の活性化とスポーツ・レクリエーションでだれもが明るく豊かで活力のあるふるさとづくりを行うことを目的に開催。</p>	<p>各地区でチームを構成し、競技成績により順位・得点を付ける得点競技と、いくつかの行事への参加人数等によって、地区毎に得点を加算する参加点競技により総合得点を競う。 得点競技 アジャタ、地区対抗レクリエーション 参加点競技 ラジオ体操、老人クラブスポーツ大会</p> <p>令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。</p>	平成28年度	
46	市立体育館特定天 井改修工事	生涯学習課	<p>地震時の天井損傷や脱落防止のための天井改修工事を実施し、あわせて、マルチハロゲン灯からLED照明器具に切り替える工事を実施する。</p>	<p>市立体育館特定天井改修工事を実施</p> <p>令和元年度 基本設計業務 1,080,000円 令和2年度 実施設計業務 2,420,000円 令和3年度 天井改修工事 65,428,000円</p>	令和元年度	

VI 地域の豊かで特色ある文化の継承と創造

① 文化芸術の振興

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
47	図書館施設整備事業	文化振興課 図書館	築年数の経過に伴い老朽化が進んでいる図書館を安全、安心して利用できることを最優先に改修を行い、施設全体の維持管理、利用環境の整備を行う。	図書館便所改修工事 4,653,000円 図書館便所改修に伴う設備工事 8,273,100円 移動図書館車購入 13,201,408円	昭和54年度	○ P30
48	資料収集・情報提供事業	文化振興課 図書館	いつでも、どこでも、誰でもが、暮らしに役立つ様々な情報提供サービスを受けられるように努める。本と人、人と人が出会うことで地域のコミュニティの活性化を図り、本を仲立ちにした子育て支援やまちづくりを推進する。	地域の情報拠点として、多様な市民の要求に応えられるように図書、記録、その他必要な資料を収集し、整理し、保存に努める。特に地域資料や行政資料に関しては、郷土資料として積極的に収集し、永年保存する。 また、様々な機関と連携して幅広い情報提供を行う特集コーナーを設けるなど、地域の課題解決に役立つ資料展示を行う。	昭和54年度	
49	広報・啓発事業	文化振興課 図書館	図書館の利用と読書活動の啓発を促すため広報活動を行う。	パネル展示や企画行事を開催し読書機会の創出に努め、読書啓発活動を行う。新聞、テレビ、ラジオ等のマスコミやホームページを活用するなど様々な方法により情報提供を行う。 秋の読書週間 講演会 参加人員 14人 「録音の会」 参加人員 49人 「図書館の庭へようこそ!」「教科書展示」「秋のBOOK FES」他、毎月展示を行う。 広報さかいで、KBN、FMサン、図書館報、HPにより行事等の情報を発信。	昭和54年度	

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
50	子ども読書活動推進事業	文化振興課 図書館	すべての子どもが、いつでも、どこでも本と接することができる環境整備を行う。子ども行事や講師を派遣する出前授業を開催し読書機会の提供に努める。子どもの成長に関わる、様々な人や組織が連携して読書活動の推進に努める。	<p>坂出市子ども読書活動推進計画（第4次）に基づき、学校や関連部局と連携しながら子どもの読書機会の提供、保護者への啓発活動を行う。ボランティアと連携して行事を開催すると共に、ボランティアの資質向上のための育成講座を行う。</p> <p>「ブックスタート」 参加人員280人 絵本贈呈率100%</p> <p>「紙芝居の会」 参加人員34人 「わらべうたであそぼう」 参加人員99人 「としょかんカンガルータイム」 参加人員82人 「天体観察会」 参加人員266人 「外国語絵本よみきかせ」 参加人員70人</p> <p>児童書年間貸出数 R3年度 183,345冊 数値目標 200,000冊</p>	平成18年度	○ P30
51	市民美術館企画展事業	文化振興課 市民美術館	市民に質の高い芸術・文化に触れ合う機会を提供するとともに、いろいろな展覧会事業を通して、市民一人ひとりが豊かな創造力や感性を育み、心にゆとりと潤いを持ち、特色ある地域文化の創造が図れるよう、芸術文化の振興に努める。	当館が約10年間取り組んできた「郷土の作家シリーズ」が最終回を迎える。ここでは初めて女流作家を紹介することができた。千田豊実氏はさぬき市在住の現代アーティストで、絵画作品のほか、関連行事として「演劇との新しい表現をもとめて」をテーマに、四国学院大協力によるインプロ（即興演劇）も試みたが、コロナ禍で演劇分野は映像に変更した。コレクション展として、切り絵作家池知隆より「お四国切り絵の旅」90点の寄贈を受けたことから、香川編、愛媛編を紹介した。また、主な企画展としては、障がい者対象の「ふしぎなたね」展、県内の書道家選抜「書之美」展、アマチュア写真家の公募「フォトコンテストさかいでの四季」展、こども対象の公募「現代童画ジュニア展」など。	昭和61年度	○ P30
52	万葉企画事業	文化振興課	万葉集にも詠われた沙弥島を舞台に、柿本人麻呂が過ごした時代に思いをはせ、万葉の島である沙弥島に親しんでいただく。また、特色ある地域文化の保存、継承に努める。	<p>柿本人麻呂の長歌を陰刻した茶器で煎茶とともに万葉集の響きを楽しむ「万葉茶会」や、伝統文化の人形浄瑠璃公演を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月9日 第34回狭岑島万葉茶会（116人） 11月21日 講演「江戸時代お茶の世界」（60人） ・10月14日 文楽人形音楽演劇「楽しく音楽 おもしろ人形」（43人） ・万葉まつり 中止 		

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
53	坂出歴史文化講座 (レキブンコウ)	文化振興課	本市に関わる歴史・文化・芸術方面にわたって学んでもらう講座を行い、古き良き坂出を知ってもらう。	<p>近年の戦国ブームに合わせて本市ゆかりの戦国武将仙石秀久に着目し、戦国時代の甲冑を手作りする講座を開催した。講座終了後は受講生らによる九州征伐出陣の様子を再現する戦国イベントを開催した。</p> <p>また、地元で行われている「讃岐国府まつり」に併せて、讃岐国府跡や開法寺跡に関する講座を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月23日, 6月27日, 7月4日, 7月11日「甲冑講座①兜編」(31人) ・7月18日, 8月1日, 10月9日「甲冑講座②鎧編」(32人) ・10月10日, 24日「甲冑講座③小具足編」(35人) ・11月21日「さかいでセンゴク歴史絵巻」(38人) ・11月21日「讃岐国府まつり」(22人) 	平成25年度	
54	文化芸術事業	文化振興課	ふれあい会館, 教育会館, 美術館等の文化施設を活用しながら, 市民の方々が文化芸術に親しむことができる機会の創出に努め, 文化振興を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・10月9日, 11月3日, 11月21日「キラキラライトと身体であそぼう」(延べ90人) ・10月9日, 10月10日, 12月19日「ひついでし福王寺・夢・アートスタジオ日本画展」(延べ37人) ・10月16日「バス・バリトン村山岳ジョイントコンサート」(30人) ・10月24日「福王寺一彦アート講座」(6人) ・12月4日, 12月11日「冬の親子ワークショップ」(40人) ・12月中旬「ワークショップ『「色で探る」坂出のイメージ』」(1,450人) ・12月19日「子ども芸術学校2021」(延べ82人) 	平成26年度	○ P31

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
55	市民ホール施設改修事業	文化振興課	<p>休館中の市民ホールについて、令和2年度から実施している改修工事（建築・電気設備・機械設備）および外観の向上を目的とした外装ルーバー設置工事を完了させ、できるだけ早期の再開を目指す。</p>	<p>【改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事：特定天井及び舞台天井耐震改修，舞台床及び舞台機構改修，ホワイエ及び客席床面改修などを実施した。 ・電気設備工事：舞台照明設備更新，高圧受電設備更新，非常灯誘導灯設備更新などを実施した。 ・機械設備工事：空調用蓄熱装置更新，トイレ洋式化・多機能化，給水管更新などを実施した。 ・外装ルーバー設置工事：屋外公衆トイレ南側壁面に装飾ルーバーを設置した。 <p>【グランドピアノ購入】</p> <p>開館時に寄贈され休館まで45年間使用したヤマハ製グランドピアノについて、長年の使用によりホールピアノとして運用する音響性能の水準を維持することが難しい状態であるため、後継ピアノとしてスタインウェイ&サンズ社製グランドピアノを購入し、文化体育振興基金から購入費用の全額を充当した。</p> <p>【ピアノリレーコンサート】</p> <p>市民ホール再開記念とスタインウェイ&サンズ社製グランドピアノのお披露目を兼ねて、1月30日に『スタインウェイピアノリレーコンサート in 坂出市民ホール』を企画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一般市民によるピアノ演奏を延期し、ピアニストによるゲスト演奏のみ動画撮影し、市公式「さかいでチャンネル」で公開した。</p>	令和元年度	○ P31

② 文化財の保護

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
56	塩業資料館児童校外学習見学事業	文化振興課	<p>坂出の歴史に深く関わった塩田や久米通賢について学んでもらうため、市内の公立小学3,4年生等を対象に、塩業資料館の学習見学を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校外学習（坂出市立林田小学校 63人） 毎年、小学3・4年生等を対象に塩業資料館の学習見学を実施しており、コロナ禍により市外からの学校の参加はなかったが、市内の学校1校から63人が遠足として訪れ、塩業資料館の学習見学と塩の実験を体験した。 ・ソララボ「Part6～塩を使ってシャーベットを作ってみよう～」8月3日（14人） 塩を使って電気を使わずにシャーベットを作る実験などで塩の性質を学ぶ講座を行い、塩業資料館の周知に努めた。 	平成25年度	

No	事業名	担当課	事業目的	事業概要	事業開始年度	評価対象
57	坂出市内遺跡発掘調査事業	文化振興課	坂出市内における遺跡の踏査，土木工事などに先立つ試掘調査および遺跡の範囲確認調査，また工事の際における現場での立会などを行い，貴重な埋蔵文化財を保護する。	土木工事や民間施設の建設工事等に先立ち，工事立会，確認調査を実施し，埋蔵文化財の保護を図った。 ・文化財保護法第93条関係 4件 ・文化財保護法第96・97条関係 2件	平成3年度	
58	讃岐国府跡探索事業	文化振興課	平成25年2月に府中町本村地区に讃岐国府跡の所在が確定されたことから，調査指導専門委員会を開催し，具体的に調査内容等の検討を進め，国の史跡指定を目指す。また，保存活用検討会議を開催し，今後の讃岐国府跡の保存，活用方法を検討する。	【讃岐国府跡保存活用検討会】 讃岐国府跡保存活用検討会議を4回(7月12日・9月27日・11月30日・3月31日)開催し，『史跡讃岐国府跡保存活用計画』の策定を行った。 【讃岐国府跡調査指導専門委員会】 讃岐国府跡調査指導専門委員会は2回(8月10日・3月4日)開催し，今後の調査方針や内容について検討を行った。	平成26年度	
59	文化財保護管理活用事業	文化振興課	坂出市内にある指定文化財周辺の管理(主に除草)を実施すること。また，市内の文化財所有者や保護団体に，保存，管理，活用に必要な費用を補助することを通じ，貴重な文化財の保護活用に努める。	・指定文化財等周辺の除草，剪定 ・指定文化財の保存，管理，活用に対する補助 ・12月21日 文化財保護審議会開催 ・文化財関係書籍作成事業 ・重要文化財白峯寺防災施設整備事業 ・美術工芸品防災施設整備事業	昭和56年度	
60	開法寺跡発掘調査事業，遺物整理事業	文化振興課	平成25年2月に府中町本村地区に讃岐国府跡の所在が確定し，讃岐国府跡との関係で重要遺跡である開法寺跡について，昭和45年から平成19年度までの調査により出土した遺物整理を進め，平成28年度からは開法寺跡の発掘調査をおこない，国指定史跡への追加指定を目指す。	これまで未整理であった過年度調査で出土した遺物の整理作業を行い，本年度では昭和45年度，平成13～15・18・令和元・2年度の遺物について，整理・実測(土器：約300点，瓦：約489点)，写真撮影(約500点)等を実施した。また，国史跡「讃岐国府跡」の指定範囲及び開法寺跡の地形測量調査を実施し，今後の讃岐国府跡の調査における重要な参考データを得ることができた。	平成26年度	

評価対象事業

I 生きる力をはぐくむ教育の充実

② 豊かな心の育成

No	事業名	担当課	自己評価	委員評価			今後の方向性
2	さかいでスクールサポート ティチャー派遣事業	学校教育課	平成30年度から始まった本事業は、学校で起こる児童生徒の様々な問題(学力向上, 生徒指導, 特別支援など)及び教職員の指導育成に、ベテランの退職教員の力を借りて、より迅速かつ適切に対処し、正常な授業, 学級を取り戻し、誰一人取り残すことのない個別最適化された学びを支えるものとなっている。学期途中で困難な状況に陥り、それを打開するために緊急派遣を希望する学校にも対応し大きな成果を上げることができた。	A	A	充実	令和3年度各校からの派遣希望時数は3000時間を超えている。しかし、派遣実績は1980時間であり、派遣希望の66%にとどまっている。子どもたちの未来を拓く力を育むために、少しでも各校の派遣のニーズに対応していきたい。 また、教職員の働き方改革の視点からも学校の安定化や望ましい職場環境づくりにつなげていきたい。
3	問題行動への対策 (人格形成と規範意識の涵養)	学校教育課	令和3年度の市内小中学校の全児童生徒における不登校生の割合は、小学校0.45%(昨年度0.31%), 中学校4.72%(昨年度3.03%)で、小中学校ともに前年度より増加した。虐待に関する相談件数が増加しており、学校等での虐待の早期発見・早期対応、被害を受けた子どもへの適切な保護等について、関係機関と連携した対応に努めている。暴力行為については、小学校において増加した。いじめについては積極的認知を推進しており、認知件数は昨年度より小中学校ともに増加した。いじめ、暴力行為については、重大事態の疑いがある事案が発生した場合は、学校と市教育委員会、関係機関が連携して調査を行い、組織的な対応方針を決定し、解決に努めている。児童生徒の生活の変化や心身の影響等、さらにきめ細やかな状況把握が必要と考える。	C	C	継続	新型コロナウイルス感染症への対応が長期化する中、子どもたちの心のケアが重要な課題となっている。管理職のリーダーシップのもと、チームとして組織的に対応し、関係機関との連携を密に図る。不登校・不登校傾向にある児童生徒の対応については、小・中学校間における情報共有や、同一校区内に配置しているスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用により、きめ細やかな状況把握と丁寧な初期対応などを組織的に行う。規範意識や道徳性・社会性、自尊感情が高まる教育活動の充実に努め、未然防止、早期発見・早期対応に取り組む。

⑥ 幼児教育の充実

No	事業名	担当課	自己評価	委員評価			今後の方向性
6	坂出市子ども発達支援事業	こども課	本市の幼稚園特別支援教育支援員は7年～10年と長年にわたって勤務しているかたが多い。幼稚園教諭免許もしくは養護教諭の免許を有する専門性の高い人材が集まっていることから、幼児の発達特性の理解や特別支援教育の内容理解が優れていると捉えている。年間2回の研修会や月例報告、年度末のまとめなど含めて研修体制を整えている。	A	A	継続	必要な幼児に早期の適正支援が行えるよう、人材確保や特別支援教育支援員の研修体制を整えていきたい。また、園内の特別支援教育の体制を合わせて充実させていきたい。

IV 信頼される安全安心な教育環境の充実

② 教職員の資質向上のための研修の充実

No	事業名	担当課	自己評価	委員評価			今後の方向性
20	教育研究所の研究・研修事業 (信頼される学校づくり)	学校教育課	喫緊の教育課題を積極的に取り上げ、教員一人一人の資質能力の向上を図る視点から研究内容が工夫されている。特に学校教育課題部会では、「GIGAスクール構想実現」に向けたICT環境整備事業で整備されたタブレットPC等の効果的活用について実践研究に取り組んだ。4部会の研究は、研究紀要にまとめ、市内全教員に配布した。教育研究所所員のみならず、市内全小中学校の教職員の指導力向上に大きく寄与しており、その成果は高く評価できる。	A	A	継続	各部会においてよりよい教育活動と教職員の資質向上のために理論と実践を行う。特に、学校教育課題部会では、ICT活用的一方で課題となっている情報モラルについて、「デジタルシティズンシップ教育」をテーマとして児童生徒の行動変容を促す学びの実現を目指した研究に取り組んでいく。また、若年教員研修部会においては、附属坂出小学校との連携を図りながら研究を進めていく。

IV 信頼される安全安心な教育環境の充実

④ 魅力ある学校施設の整備充実

No	事業名	担当課	自己評価	委員評価			今後の方向性
23	学校給食センター整備運営事業	教育総務課	学校給食センターの整備手法として、PFI方式を本市で初めて採用したことで、通常の公共工事と異なり、急激で著しく、かつ予測不能な建設関連資材の高騰等に対し、事業者と連携し創意工夫することで、増大する追加コストを緩和することができた。	A	A	継続	引き続き、建設・開業準備・運営等の履行について、モニタリング業務を委託することで要求水準を確保し、安全安心でおいしい学校給食の実現をめざす。
26	学校再編整備事業	教育総務課	新型コロナウイルス感染症対策により予定どおり会議が開催できず、年度内での答申のとりまとめには至らなかった。児童・生徒数の減少等に対応し学校教育の継続を図るためには、早急な計画策定が必要だが、議論を重ねるため、会議の開催を书面開催とはせずに、延期して実施した。	B	B	充実	学校再編整備検討委員会を令和4年度も継続して開催し、パブリックコメントの実施等を経て答申を受け、学校再編整備計画を策定する。

V 生涯にわたって学び続けることができる生涯学習の充実

① 生涯学習のまちづくりの推進

No	事業名	担当課	自己評価	委員評価			今後の方向性
30	地区公民館施設整備事業	生涯学習課	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、トイレ洋式化、手洗器自動化の環境整備事業を実施した。	A	A	継続	利用者の安全、安心を最優先に考えた改修を計画的に行う。
33	交流の里 おうごし	生涯学習課	令和3年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため8、9月を休館するなど利用を制限した影響もあり、利用者数は前年度並み、使用料は減少した。そうした状況の中で、新たにピザ窯とウッドデッキを設け、施設の充実を図るとともに、訪れる方々に竹細工づくりなど王越町の自然と触れ合う機会を創出した。	C	B	継続	令和4年度も新型コロナウイルスの状況を注視しつつ、王越町共に生きるまちづくり推進協議会など各団体と連携しながら王越町の魅力を発信していく。また、さかいでっこ探けん隊やトンボ学校などさまざまな体験イベントを通じて、施設を利用してもらい、市民共働によるにぎわいの創出および地域交流の促進を図っていく。

V 生涯にわたって学び続けることができる生涯学習の充実

② 家庭や地域における教育力向上のための支援

No	事業名	担当課	自己評価	委員評価		今後の方向性	
39	青色防犯パトロール運行活動事業	生涯学習課	各地域青色防犯パトロール団体の実施計画に基づき計画的にパトロールが実施されているが、児童生徒の通学時間帯に通学路等で発生した不審者事案が、20件は下回っているものの、2年度より4件多く発生している。不審者の情報は、FAXや電話により各団体の代表に迅速に発信することで素早く情報を共有し、重点パトロールに生かしている。また、「青色防犯パトロール団体情報交換会」を開催し、活動の意義や効果的なパトロール活動について研修を行い、地域のホットスポット（犯罪が起りやすい場所）パトロールの考え方を共有するとともに、各地区の状況や活動の担い手づくりなどの課題についても広く意見交換を行った。「安全・安心なまちづくり」に向けて地道な活動を継続している。	B	B	継続	ここ数年、不審者情報の受理件数は減少してきたが、3年度は4件の増加に転じた。無断で写真を撮影される、執拗につきまといわれたりするなど、一つ間違えれば大きな事件に発展しかねない事案が後を絶たない。今後さらに、地域の実情や児童生徒の登下校時間等の実態に合わせて通学路を重点的にパトロールするなど、運行回数を見直し充実させるとともに、研修を通して補導員の資質を高めるなど、「安全・安心なまちづくり」に向けて、地域防犯活動の強化に努めていく。

③ スポーツの推進

No	事業名	担当課	自己評価	委員評価		今後の方向性	
44	カヌーのまちさかいで推進事業	生涯学習課	ハンガリーカヌースプリントチームのオリンピック前最後の調整宿を新型コロナ感染防止対策を徹底のうえ実施し、オリンピックでは金メダルを含む多くのメダルを獲得した。コロナ禍により、地元の高中生や中学生が選手らと直接交流することはできなかったが、オリンピックの漕ぐ姿を間近で見学できたことがモチベーションとなり、高校総体では地元選手が3位入賞を果たした。また、地元から今井航一選手がパラリンピックに出場し大舞台で活躍した。普及の面では市内外からカヌー体験の申し込みが増加し、多くの子供たちにカヌーという競技に触れる機会を提供することができた。さらに、令和2年度にはコロナ禍により縮小開催となり実施できなかったカヌースプリントジュニア海外派遣選手選考会、府中湖レガッタも実施した。また、それに併せてコースや栈橋の大規模改修を実施し、施設も充実した。	A	A	継続	今後も競技用備品等を充実させ、小学生から高校生まで横断的な競技力の向上を図っていく。また、カヌーの魅力を発信し、一人でも多くの子供や大人がカヌーに触れる機会を増やしていく。さらに、カヌー強豪国であるハンガリーカヌーチームが選んだ合宿地として国内チームの合宿誘致にも取り組み、本市の活性化にもつなげていく。

VI 地域の豊かで特色ある文化の継承と創造

① 文化芸術の振興

No	事業名	担当課	自己評価	委員評価			今後の方向性
47	図書館施設整備事業	文化振興課 図書館	便所の洋式化、手洗いの自動水栓化等の改修や、移動図書館車の購入を実施した。	A	A	継続	利用者の安全、安心を最優先に考えた改修を計画的に行う。
50	子ども読書活動推進事業	文化振興課 図書館	新型コロナウイルス感染症の影響による閲覧制限等で来館者数は減少したが、家庭で読書をして過ごしてもらえるよう、展示の工夫や広報活動を行い、ほぼ同程度の年間貸出数となった。講演会等は実施できなかったが、館内定例行事を継続し、絵本を紹介する冊子を作成する等、今後の読書活動につなげることができた。	A	A	継続	坂出市子ども読書活動推進計画に基づき、今後も市民協働で行事の開催を継続。子どもたちの読書への関心や意欲を高めるため、関連部局と連携し、読書環境の充実に努めている。

VI 地域の豊かで特色ある文化の継承と創造

① 文化芸術の振興

No	事業名	担当課	自己評価	委員評価			今後の方向性
51	市民美術館企画展事業	文化振興課 市民美術館	2011年「市民美術館の在り方検討委員会」より提案のあった「10年をスパンとし、地元作家を紹介し顕彰する事業」が最終年を迎えた。 最終回で女流作家の紹介ができたことは、今後の展開力に期待がもてる。さらに将来を見据えた移行期の企画が、令和4年度事業で反映され、市民の芸術への関心を高める契機にもなっている。	A	A	充実	過去10年間の収集作品や資料を様々な角度から紹介し、付加価値を高める作業のプログラムが必要となる。併せて保管や展示の環境を向上させるため、空調や照明などの設備更新は近々の課題でもある。

No	事業名	担当課	自己評価	委員評価			今後の方向性
54	文化芸術の振興 「文化芸術事業」	文化振興課	<p>演劇事業「キラキラライトと身体であそぼう」と「子ども芸術学校2021」を新規事業で実施した。また、郷土の芸術家による新規事業として、親子を対象とした「冬の親子ワークショップ」、市内中学生を対象とした「ワークショップ『「色で探る」坂出のイメージ』」を開催した。美術館では、バス・バリトン歌手の村山岳氏を招いての「音楽コンサート」を開催し、音楽と絵画という異なるジャンルの芸術の融合を図るとともに、万葉会館では、人形浄瑠璃に音楽を組み合わせて、伝統文化を身近に感じられる公演を開催した。令和2年度より実施している日本画家の福王寺一彦氏を招いての「福王寺一彦アート講座」「ひつし福王寺・夢・アート・スタジオ日本画展」をそれぞれ開催し、市民が芸術作品を鑑賞しワークショップで芸術に触れる機会の創出を図った。</p>	A	A	継続	<p>本市の文化施設を活用するとともに、本市とかかわりのある芸術家を招くことで、幅広い世代の方々に多様で良質な文化芸術に親しみやすい環境を創り出し、その機会を増やしていくことに努めていく。</p>
55	市民ホール施設改修事業	文化振興課	<p>改修工事の目的である①特定天井の耐震補強、②地下水浸水対策及び③舞台照明設備更新を高い水準で達成するとともに、高圧受電設備の更新や空調用熱源設備の更新などの設備機器更新、ホワイエ床更新や舞台床更新並びに外装ルーバー設置工事を行い、施設の安全性の確保と利用者の利便性を高めることができた。</p> <p>また、改修工事期間に発生した新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置として、館内トイレ設備の乾式清掃方式化、手洗い水栓の非接触センサー式自動水栓化等の改修工事を、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し実施し感染防止対策を行った。</p>	A	A	活用	<p>改修工事により、施設の安全性の確保と利便性の向上を図った市民ホールが、再び文化振興の拠点として、市民に親しまれるよう再開記念イベント等を企画する。</p>